

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/1/11
廃2018	—	01	—	0281	
調整後保管日時		2018年1月15日			
【保管時の指示事項等】					11:00

線量測定内容			
測定日	2018年1月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

作	保管希望日時	2018年1月15日				(月)	11:00				承認		審査		作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事															
主	発生場所	H4N										2018/1/11		2018/1/11		2018/1/11	
	作業主管G	貯留設備土木グループ						監理員						TEL			
管	元請会社					担当者						TEL					
	線量測定年月日	2017/11/30		測定者				測定器名		—		管理番号		—			
G	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率			
	①		②		③												
記	1	難燃シート		C	02	D	A	4	m ²	0.002	mSv/h	0.6	mSv/h	β 有	20	mSv/h	
	2	コンクリートガラ		B	02	D	A	13	m ²	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	4	mSv/h	
	3	碎石		B	04	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h	
	4	ゴム		C	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	0.3	mSv/h	
欄	5	ウエス		A	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h	
メモ	コンテナ2基分(No50、51)																

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25	μ Sv/h	25	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアW1	2018/1/15 11:00	10	m ³		A0196	1
	1	2	10m3コンテナ	25	μ Sv/h	25	μ Sv/h	27	μ Sv/h	エリアW1	2018/1/15 11:00	10	m ³		B0127	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
--------	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4N						2018/1/11	2018/1/11	2018/1/11		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/30	測定者			測定器名	—		管理番号	—		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	難燃シート			C 02	D A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h	
	2	コンクリートガラ			B 02	D A	12 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h	
	3	碎石			B 04	D A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h	
4	空土嚢			C 02	D A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h		
5						m ²						
メ モ	コンテナ2基分(No52、53)											

線量測定内容											
測定日	2018年1月15日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	27 μ Sv/h	10 m ²	10 m ²							
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	27 μ Sv/h	エリアW1	2018/1/15 11:30	10 m ²		OK-0107	1			
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	27 μ Sv/h		エリアW1	2018/1/15 11:30	10 m ²		B0136	1			
										m ²						
										m ²						
										m ²						

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納															
--------	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	13:00		承認	審査	作成													
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																				
	発生場所	H4N						2018/1/11	2018/1/11	2018/1/11												
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL													
	元請会社					担当者			TEL													
管	線量測定年月日	2017/11/30	測定者			測定器名	—		管理番号	—												
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
			①	②	③																	
			1	難燃シート	C						02	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.6	mSv/h	β 有	20	mSv/h
			2	コンクリートガラ	B						02	D	A	8	m ²	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	4	mSv/h
3	碎石	B	04	D	A	5	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h								
4	ゴム	C	01	D	A	2	m ²	0.002	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	2	mSv/h								
5																						
記入欄	コンテナ2基分(No56、57)																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0283
				2018/1/11
調整後保管日時		2018年1月15日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2018/1/15 13:00	10 m ²		OK-0070	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	30 μ Sv/h	33 μ Sv/h	エリアW1	2018/1/15 13:00	10 m ²		OK-0264	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0295
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月15日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	5,6号機プラント東側					2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-422		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月15日	(月)	12:30	承認	審査	作成
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事					
	発生場所	5,6号機プラント東側			2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22
	作業主管G	トレンチ対策グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
メ モ	線量測定年月日	2017/12/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号 FI-ICW-422
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h
	2				m ³		
3				m ³			
4				m ³			
5				m ³			
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0296
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月15日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	5,6号機プラント東側						2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-422
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0297
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月15日		12:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	土捨場								
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/22	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-422	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0298
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月16日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/16 8:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0006

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事								
	発生場所	C2エリア近傍				2017/12/21	2017/12/21	2017/12/21		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-6		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	保温材	B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0306
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月15日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/15 11:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0006

作業主管理	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	12:30	承認	審査	作成
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事						
	発生場所	C2エリア近傍				2017/12/21	2017/12/21	2017/12/21
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
線量測定	線量測定年月日	2017/12/26	測定者			測定器名	ICWBL	
						管理番号	F1-ICWBL-6	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				
	1	保温材	B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h
入 欄	2					m ²		
	3					m ²		
	4					m ²		
	5					m ²		
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0307
				2017/12/22
調整後保管日時		2018年1月15日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0133																																																																																																																																											
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月15日		(月)	13:00		承認		審査	作成																																																																																																																																										
	作業件名		多核種除去設備 配管腐食対策工事																																																																																																																																																		
	発生場所		既設多核種						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25																																																																																																																																										
	作業主管G		処理設備グループ				監理員		TEL																																																																																																																																												
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																																																												
	線量測定年月日		2017/11/27		測定者		測定器名		管理番号		F1-ICW-187F1-ICWRW-104																																																																																																																																										
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																																																																								
	1		可燃物(紙・ウエス類)			A 01 D A		1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無																																																																																																																																								
	2		可燃物(ビニール類)			A 02 D A		2 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無																																																																																																																																								
	3		可燃物(プラスチック類)			A 02 D A		1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無																																																																																																																																								
4		可燃物(発砲スチロール)			A 02 D A		1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無																																																																																																																																									
5																																																																																																																																																					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年1月15日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-061</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2018年1月15日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-061		2					3					4																																																																																																											
線量測定内容																																																																																																																																																					
測定日	2018年1月15日																																																																																																																																																				
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																																		
1		ICW	F1-ICW-061																																																																																																																																																		
2																																																																																																																																																					
3																																																																																																																																																					
4																																																																																																																																																					
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																																																									
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 12:30	0.8 m ²			1																																																																																																																																									
	2	1	可燃物(ビニール類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 12:30	1.5 m ²			1																																																																																																																																									
	3	1	可燃物(プラスチック類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 12:30	0.5 m ²			1																																																																																																																																									
	4	1	可燃物(発砲スチロール)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 12:30	0.5 m ²			1																																																																																																																																									
									m ²																																																																																																																																												
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">※カテゴリ</th> <th colspan="2">①</th> <th colspan="2">②</th> <th colspan="2">③</th> <th colspan="2">④</th> <th colspan="2">⑤</th> <th colspan="2">⑥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">A</td> <td rowspan="6">可燃物</td> <td>01</td> <td>紙・ウエス類</td> <td>02</td> <td>プラスチック・ホリ・ビニール類</td> <td>03</td> <td>木材類</td> <td>04</td> <td>可燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> <td>06</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">B</td> <td rowspan="4">不燃物</td> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難燃物</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐採木</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリ		①		②		③		④		⑤		⑥		A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	C	難燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		
※カテゴリ		①		②		③		④		⑤		⑥																																																																																																																																									
A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—																																																																																																																																								
		06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																																																										
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																																																								
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																																																								
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																																																								
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																																																								
	C	難燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																																									
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																																									
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																																									
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																																									
	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																										
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																																																																																				

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0134

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	増設多核種除去設備 配管腐食対策工事									
	発生場所	既設多核種				2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25			
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	難燃物(ピンクシート)	C	02	D	A	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0310
調整後保管日時				2018年1月16日
				8:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願ひします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(ピンクシート)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 8:45	3.4 m ²			1
	2	1	可燃物(ビニール類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 8:45	0.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6013708 - 0029																																																																																																										
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月16日				(火)		11:00				承認		審査		作成																																																																																																										
	作業件名		雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																																																																																																																								
	発生場所		B、C、E、G、Hタンクエリア関係他												2017/12/22		2017/12/21		2017/12/21																																																																																																								
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL																																																																																																																
	元請会社						担当者				TEL																																																																																																																
	線量測定年月日		2017/12/12		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-72																																																																																																												
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																										
	1		カナフレックス			C 04 D B			5 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h		無																																																																																																												
	2								m ²																																																																																																																		
	3								m ²																																																																																																																		
4								m ²																																																																																																																			
5								m ²																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="8">2018年1月16日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="7">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="7">F1-ICWBL-120</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>																		線量測定内容										測定日		2018年1月16日								測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		ICWBL	F1-ICWBL-120							2										3										4																																													
線量測定内容																																																																																																																											
測定日		2018年1月16日																																																																																																																									
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																								
1		ICWBL	F1-ICWBL-120																																																																																																																								
2																																																																																																																											
3																																																																																																																											
4																																																																																																																											
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																						
	1	1	カナフレックス (→H)		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアO		2018/1/16 10:45		2 m ²						1																																																																																																						
															m ²																																																																																																												
															m ²																																																																																																												
															m ²																																																																																																												
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ タ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> <tr> <th colspan="2">01 金属ガラ</th> <th colspan="2">02 コンクリートガラ</th> <th colspan="2">03 機器類・制御盤類</th> <th colspan="2">04 土砂類</th> <th colspan="2">05 塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06 保温材</th> <th colspan="2">07 石綿含有物</th> <th colspan="2">08 ケーブル類</th> <th colspan="2">09 アスファルトガラ</th> <th colspan="2">10 不燃物その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">11 フランジタンク本体</th> <th colspan="2">12 フランジタンク付属品</th> <th colspan="2">13</th> <th colspan="2">14</th> <th colspan="2">15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">②</th> <th rowspan="4">B</th> <th rowspan="4">不燃物</th> <th colspan="2">01 ゴム類</th> <th colspan="2">02 難燃シート類</th> <th colspan="2">03 ホース類</th> <th colspan="2">04 難燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">01 伐採木(幹・根)</th> <th colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</th> <th colspan="2">03</th> <th colspan="2">04</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th colspan="2">③ 履歴</th> <th colspan="8">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> <tr> <th colspan="2">状態</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="8"></th> </tr> </tbody> </table>																							※カ タ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		②	B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								状態											
※カ タ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																															
				06		07		08		09		10																																																																																																															
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																															
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																															
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																															
②	B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																																
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																
			D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																				
			状態																																																																																																																								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																																											

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月16日	(火)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2017/12/22	2017/12/21	2017/12/21			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	カナフレックス	C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0312
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月16日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	カナフレックス (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 11:15	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0029																																			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月16日		(火)	12:30		承認	審査	作成																																			
	作業件名		雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																																										
	発生場所		B、C、E、G、Hタンクエリア関係他						2017/12/22	2017/12/21	2017/12/21																																		
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員	TEL																																					
	元請会社						担当者	TEL																																					
	線量測定年月日		2017/12/12		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ																																				
								管理番号	F1-ICWBL-72																																				
	No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																			
	1		C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無																																			
	2						m ²																																						
3						m ²																																							
4						m ²																																							
5						m ²																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年1月16日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-120</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2018年1月16日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-120		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2018年1月16日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICWBL	F1-ICWBL-120																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																	
	1	1	カナフレックス (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 12:15	2 m ²			1																																	
									m ²																																				
									m ²																																				
									m ²																																				
									m ²																																				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—																																				
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—																																				
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類																																				
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他																																				
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—																																				
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—																																				
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																																				
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																																				
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																																				
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0009

作業主管理	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンク水位計設置(TPT)								
	発生場所	ヤード G1エリア				2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25		
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	081			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	エフレックス	C	04	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
	2						m ²			
入欄メモ	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0314
調整後保管日時				2018年1月16日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 9:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0009

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0315
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンク水位計設置(TPT)									
	発生場所	ヤード G1エリア						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25	
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	081	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	紙類	A	01	W	B	2 m ²	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2	ポリ類	A	02	D	B	2 m ²	3 μSv/h	4.5 μSv/h	無	
	3	ロープ類	A	04	D	A	1 m ²	3 μSv/h	4 μSv/h	無	
4						m ²					
5						m ²					

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/17 9:45	1 m ²			1
	2	1	ポリ類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/17 9:45	0.7 m ²			1
	3	1	ロープ類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/17 9:45	0.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001								
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	11:00		承認	審査	作成									
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事																
	発生場所	第一地組ヤード						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25								
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員			TEL									
	元請会社					担当者			TEL									
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361							
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率							
	1	金属がら			B	01	D	B	10 m ²	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無						
	2								m ²									
	3								m ²									
4								m ²										
5								m ²										
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																		
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
	1	1	金属がら②		5 μ Sv/h		20 μ Sv/h				エリアC	2018/1/17 11:10	6 m ²			1		
													m ²					
													m ²					
													m ²					
													m ²					
													m ²					
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		D	伐採木															
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																		

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カパー工事										
	発生場所	第一地組ヤード						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25		
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属がら			B	01	D	B	10 m ²	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0317
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 11:00	8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013201 - 0001
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	ロータリーヤード						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-361			
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	不燃物その他	B	10	D	B	10 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※不燃物その他: 内容物はシート(砂利、碎石付着有)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0318
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	9 μ Sv/h		エリアC	2018/1/19 10:50	10 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	多核種除去設備 CFF等取替									
	発生場所	既設多核種						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/27		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-167F1-ICWRW-104
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	難燃物(ピンクシート)	C	04	D	A	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0323
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6012602 - 0003
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置A点検手入工事									
	発生場所	窒素ガス分離装置(A, B, C, 非常用)エリア					2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25		
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
G	線量測定年月日	2017/12/19	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	FI-ICWBL-53		
記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	可燃物(段ボール、キムタオル類)	A 01	W	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	2	可燃物(プラスチック、ビニール類)	A 02	D	B	0.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	3					m ²					
	4					m ²					
5					m ²						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0324
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月17日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	FI-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(段ボール、キムタオル類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/17 11:05	1.1 m ²			1
	2	1	可燃物(プラスチック、ビニール類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/17 11:05	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013707 - 0107
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	SARRY II 新設工事								
	発生場所	既設多核種					2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者			測定器名	電離箱式サーバイメータ		管理番号	FI-ICW-187FI-ICWRW-104
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物(保温材)	B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0325
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(保温材) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/17 8:35	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0107	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	9:30		承認	審査	作成					
	作業件名	SARRY II 新設工事												
	発生場所	既設多核種						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25				
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2017/11/27		測定者			測定器名	電離箱式サーバイメータ		管理番号	F1-ICW-167F1-ICWRW-104			
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③									
	1	不燃物(保温材)	B	06	D	A	3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	A	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3							m ²						
	4							m ²						
5							m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0326
				2017/12/25
調整後保管日時		2018年1月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-190	
2		ICW	F1-ICW-158	
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(保温材) ③	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/1/17 9:50	3 m ²			1
	2	1	可燃物(ビニール類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/17 9:15	1.3 m ²			2
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺					2017/12/26	2017/12/20	2017/12/20	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-185
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	土のう袋・養生テープ他			① A 04 ② D ③ B	3 m ³	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0327
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月16日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土のう袋・養生テープ他	2 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 8:35	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票														計上No.		6013802 - 0001		
作業主管理	保管希望日時		2018年1月16日				(火)		12:30				承認		審査		作成	
	作業件名		平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」															
	発生場所		1～4号機周辺										2017/12/26		2017/12/20		2017/12/20	
	作業主管		G 地下水調査グループ				監理員						TEL					
	元請会社						担当者						TEL					
G記入欄メモ	線量測定年月日		2017/12/11		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-185			
	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率					
			①	②	③													
	1	雑草	A	04	D	A	2 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無								
	2						m ²											
	3						m ²											
	4						m ²											
5						m ²												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0328	
					2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月16日			12:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所	1～4号機周辺				2017/12/26	2017/12/20	2017/12/20			
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-185			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	アスファルトガラ		B	09	D	B	3 m ³	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0329
調整後保管日時				2018年1月17日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-190	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/17 9:05	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	12:00	承認	審査	作成							
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」													
	発生場所	1～4号機周辺				2017/12/26	2017/12/20	2017/12/20							
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
線量測定	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-185						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率						
		①	②	③											
		1	アスファルトガラ	B 09						D B	2 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
		2									m ³				
3				m ³											
4				m ³											
5				m ³											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0330
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月17日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-190	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/17 12:10	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013802 - 0001
-------	----------------

作業主	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:00		承認		審査		作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」										
主	発生場所	1～4号機周辺						2017/12/26	2017/12/20	2017/12/20		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員				TEL		
管	元請会社				担当者				TEL			
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者				測定器名		ICW	管理番号		F1-ICW-185
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③							
記入欄	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	3 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無		
	2						m ²					
	3						m ³					
	4						m ³					
	5						m ³					
メモ												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	01	—	0331	
調整後保管日時		2018年1月19日			2017/12/20 9:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$		エリアC	2018/1/19 9:00	2 m ³			1
											m ³			
											m ³			
											m ³			
											m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0332
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月19日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺								
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員			TEL			
	元請会社			担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-185	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	雑草・枝葉	A	04	D	A	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	雑草・枝葉	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:10	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
	発生場所	1号機 北西ヤード						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/25
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-49		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01244	B	10	D	A	2 m ³	0.003 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有 2 mSv/h
	2	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01246	B	02	D	A	4 m ³	0.003 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有 4 mSv/h
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
メモ	※ ZK-01244:A 構内にあったコンクリートが 1.8m ³ 及び B 構内に持込んだ 合板 0.2m ³ ※ コンテナ積込: 6tフォークリフト使用。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0343
調整後保管日時				2018年1月16日 8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01244	8 μ Sv/h	45 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアX	2018/1/16 8:10	6 m ³		ZK-01244	1
	2	1	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01246	8 μ Sv/h	30 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアX	2018/1/16 8:10	6 m ³		ZK-01246	1
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0054

作業 主 管 入 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	土捨て場北側造成に伴う配電線移設							
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
G 記 入 メ モ	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリート柱	B 02	D A	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	根枷	B 02	D A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3				m ²					
4				m ²					
5				m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0344
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/17 8:50	10 m ²			1
	2	1	根枷 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/17 8:50	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012902 - 0054		
作業主管理	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	土捨て場北側造成に伴う配電線移設										
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリート柱		B 02	D A	10 m ²	0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無		
	2					m ²						
	3					m ²						
4					m ²							
5					m ²							
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受付番号											
廃2018	—	01	—	0345						2017/12/26	
調整後保管日時				2018年1月17日				11:30			
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容											
測定日	2018年1月17日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-190								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h					6	m ²			
1	1	コンクリート柱①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 11:00	6	m ²			1	
1	2	コンクリート柱①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 11:20	2	m ²			1	
1	3	コンクリート柱①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 11:30	2	m ²			1	
												m ²				
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。											

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6012902 - 0054
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業主	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	8:30	承認	審査	作成									
	作業件名	土捨場北側造成に伴う配電線移設															
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26								
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員			TEL									
	元請会社				担当者			TEL									
管	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③													
		1	コンクリート柱	B 02								D A	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
		2	根柢	B 02								D A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3					m ²												
4					m ²												
5					m ²												
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				2017/12/26
廃2018	—	01	— 0346	
調整後保管日時		2018年1月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱①	5 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 8:25	8.5 m ²			1
	1	2	コンクリート柱①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 8:30	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0054

作業主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨て場北側造成に伴う配電線移設								
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052	
記入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	コンクリート柱	B 02	D A	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2				m ²					
	3				m ²					
	4				m ²					
5				m ²						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0347
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱①	5 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 9:20	8.5 m ²			1
	1	2	コンクリート柱①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 9:40	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0034

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0348
調整後保管日時				2018年1月19日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H29)								
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	コンクリート柱			① ② ③	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	根枷			① ② ③	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/19 8:50	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0054

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0349
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨て場北側造成に伴う配電線移設									
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	腕金類	B	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ワイヤー	B	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	配電機器	B	03	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	腕金類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/19 8:40	1 m ²			1
	2	1	ワイヤー ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/19 8:40	2 m ²			1
	3	1	配電機器 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/19 8:40	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01紙・ウエス類	02プラスチック・ホリ・ビニール類	03木材類	04可燃物その他	05—
				06—	07—	08—	09—	10—
		B	不燃物	01金属ガラ	02コンクリートガラ	03機器類・制御盤類	04土砂類	05塩化ビニール類
				06保温材	07石綿含有物	08ケーブル類	09アスファルトガラ	10不燃物その他
				11フランジタンク本体	12フランジタンク付属品	13—	14—	15—
		C	難燃物	01ゴム類	02難燃シート類	03ホース類	04難燃物その他	05—
				D	伐採木	01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0034

作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2018年1月19日	(金)	11:30	承認	審査	作成													
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H29)																		
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線			2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26													
	作業主管G	配電・電路グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ													
						管理番号	F1-ICW-052													
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率										
		①	②	③																
		1	碍子類	B	10						D	A	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	電線	B	08						D	A	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3	カバー	C	04						D	A	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		4												m ²						
5							m ²													
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0350
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2		ICW	F1-ICW-158	
3				
4				

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	碍子類 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/19 12:30	1 m ²			1
	2	1	電線 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/19 12:30	2 m ²			1
	3	1	カバー (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/19 12:30	0.3 m ²			2
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0054

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側造成に伴う配電線移設										
	発生場所	土捨場周辺2号配電線						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリート柱			B	02	D	A	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0351
				2017/12/26
調整後保管日時		2018年1月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願ひします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/19 12:40	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013101 - 0002

作業主	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)								
	発生場所	A・M系排水路					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
管理	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-133
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	土砂類	B	04	W	A	8 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2						m ³			
記入欄	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0356
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 μ Sv/h	35 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 8:10	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)										
	発生場所	A・M系排水路						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者				測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	土砂類			B	04	W	A	6 m ²	0.01 mSv/h	0.06 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					2017/12/27
廃2018	—	01	—	0357	
調整後保管日時		2018年1月18日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日	2018年1月18日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-025		
2					
3					
4					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 μSv/h	70 μSv/h		エリアC	2018/1/18 9:10	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	12:30		承認	審査	作成							
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事														
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26						
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL							
	元請会社					担当者			TEL							
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364					
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
	1	金属ガラ			B	01	W	B	5	m ²	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
	2									m ²						
	3									m ²						
4									m ²							
5									m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0358
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。よろしくお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h	エリアC	2018/1/17 8:30	5	m ²	1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	
										F1-ICW-364	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ		B	02	W	B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2							m ²			
3							m ²				
4							m ²				
5							m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0359
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月17日		12:30
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。よろしくお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-190	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/17 12:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	13:00		承認	審査	作成						
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事													
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26					
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
線量測定年月日	2017/12/20	測定者				測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率						
		①	②	③											
	1	エフレックス	C	04	W	B	3	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	2	ケーブル類	B	08	W	B	2	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	3							m ²							
4							m ²								
5							m ²								
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2017/12/27
廃2018	—	01	—	0360	
調整後保管日時		2018年1月17日			13:00
【保管時の指示事項等】					
日時調整をしています。よろしくお願いします。					

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-120	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/17 12:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木											
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	W	B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2017/12/27
廃2018	—	01	— 0361	
調整後保管日時		2018年1月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑧	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/17 8:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ			① B ② 01 ③ W B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0362
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-190	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/17 9:20	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0016

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F フランジタンク除染設備設置									
	発生場所	大型機器メンテナンス建屋						2017/12/27	2017/12/27	2017/12/26	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/13		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-129
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		① ② ③									
	1	可燃物	A	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物	A	02	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物	A	04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²					
5						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0387
				2017/12/28
調整後保管日時		2018年1月16日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 12:35	1.2 m ²			1
	2	1	可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 12:35	0.5 m ²			1
	3	1	可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 12:35	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No.	6013704 - 0016
-------	----------------

作業主	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	13:00		承認		審査		作成					
	作業件名	1F フランジタンク除染設備設置														
主	発生場所	大型機器メンテナンス建屋						2017/12/27		2017/12/27		2017/12/26				
	作業主管 G	貯留設備グループ				監理員				TEL						
管	元請会社					担当者				TEL						
	線量測定年月日	2017/12/13		測定者				測定器名		電離箱		管理番号 F1-ICW-129				
G	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
				①	②	③										
記入欄	1	可燃物		A	01	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2	可燃物		A	02	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	3	可燃物		A	04	D	B	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	4								m ²							
	5								m ²							
メモ																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2017/12/20
廃2018	—	01	—	0388	
調整後保管日時		2018年1月17日			13:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
													m³			
			中止									m³				
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012312 - 0004																													
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	12:30		承認	審査	作成																														
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)																																					
	発生場所	車輦汚染検査場					2017/12/28	2017/12/28	2017/12/28																														
	作業主管G	放射線安全グループ			監理員			TEL																															
	元請会社				担当者			TEL																															
	線量測定年月日	2017/12/27	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123																													
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																													
	1	パワートート(容器、パレット)		A	02	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無																												
	2							m ³																															
	3							m ³																															
4							m ³																																
5							m ³																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月15日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-120</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年1月15日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-120	2				3				4			
線量測定内容																																							
測定日	2018年1月15日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-120																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 11:10	5 m ³			1																											
									m ³																														
									m ³																														
									m ³																														
									m ³																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																							
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ホリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—																						
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—																						
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類																						
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他																						
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—																						
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—																						
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																						
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																						
	01			伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																							